

2 学期始業式 放送講話

いつもと比べると、随分と短い夏休みが終わりいよいよ今日から 2 学期が始まります。こうして皆さんの元気な顔とまたで会えたことを、校長先生はとても嬉しく思います。今日から 2 学期がスタートしますが、皆さんも登下校や学校生活では、充分熱中症やコロナウイルスには十分注意をして過ごすようにしてください。

さて 2 学期の始まりにあたって、皆さんに 1 つだけお話をします。それは「夢をあきらめないで」というお話です。皆さん夢ってわかりますよね。夢には 2 つの意味があります。

1 つは皆さんが将来はこんな仕事をしてみたいとか、こんな大人になりたいなあと言う、将来の夢。もう一つは夜寝てる間に見る夢。

今日は皆さんの将来に関わる夢の話をしてします。みなさんは、野茂英雄という元アメリカ大リーグの選手を知っていますか。彼は、トルネード投法と言って、バッターに背中を向けながら身体をねじってものすごいスピードのボールを投げることで有名な選手です。かつて近鉄バファローズにいて、その後アメリカに渡って日本人 2 人目のメジャーリーガーになったすごい野球選手なのです。

この野茂選手ですが、なんと大阪市港区の生まれで、池島小学校っていうところに通っていました。そのとき彼が卒業のときにに文集に書いたものが残っていました。少し紹介します。

「ぼくは、将来、第一希望は甲子園に出場してプロ野球の阪神タイガースに入団することです。第二希望は高校に行くことです。ピッチャーもいきたいし、ショート、サード、レフト、にもいきたい。打つのは王選手をぬくぐらいのホームランを打つこと。毎年、ホームラン王や首位打者、盗塁王、新人王、沢村賞をとれるぐらいのうまさ、ぼくの将来の希望だ。球の早さは百七十キロでみんな内野ゴロでカーブ、ホーク、シュート、ナックル、シンカーなどで三し

んをとること。毎試合勝利。毎年五十本ホームラン。三十年間は、野球をやりたい。日本シリーズは四試合目で勝つ。なぜ高校にいきたくないかというと、今の会社は高校にいけないと入れないこともあるからだ。ぼくは、頭がわるいから野球でスカウトされて高校に行こうと思っている。

どうでしょう。これが野茂選手の夢でした。そして見事に実現しているのです。そうすると「ああ。それは野茂選手だからできたんでしょ！」という声が聞こえてきそうですが、野茂選手の小学校時代は、野球選手としては全く注目されていない、普通の選手だったそうです。中学でもそれほど活躍せず、本人がいうように、野球でスカウトされることもありませんでした。ようやく、大人になってから、新日鉄堺というあまり知られていないところで活躍しだして、あつという間に近鉄に入団してメジャー選手にまでなりました。

こんな普通の野球少年が他の人とたった一つだけ違ったところがありました。それは、「絶対に野球選手になるという夢をあきらめなかった」ということです。小学校時代も全然勝てなかった野茂選手ですが、腐らないで、自分の夢をあきらめず、練習をいっしょうけんめいがんばったそうです。

そう、夢というのは絶対かなうものなのです。あきらめなければ。あきらめるから、夢が夢で終わってしまうのです。

皆さんにはどんな夢がありますか。サッカー選手？アイドルタレント？ユーチューバー？いろんな夢があると思いますが、その夢を絶対にあきらめなければ、いつかは叶います。すぐには無理かもしれませんが、いつかは絶対かないます。

では、みなさんの夢を今から少し頭の中で思い描いてください。口に出さなくてもいいです。どんな夢がありますか？

それをぜひあきらめなくてください。校長先生は皆さんの夢がかなうように応援をします。そんな皆さんの夢が少しでもかなう、夢に一步でも近づく 2 学期となることを期待しています。

